



学校生活に関するもの、将来に関するもの、家庭に関するものなど、多岐にわたるであろうことは想像に難しくありません。このような現実を踏まえ、中部中学校では、毎年「いのちの授業」の一環として、「中学生のメンタルヘルス」に関する出前授業を実施しています。対象は2年生で、講師の先生は、三重県こころの医療センター・ユースメンタルサポートセンターMIEからお招きしています。

突然ですが、保護者の皆さんは、“ストレス”を感じていらっしゃいますか？何もストレスがない・・・にこしたことはありませんが現代社会においては、少なからず誰もが感じていると言っても過言ではないでしょう。では、中学生はどうなのでしょう？「思春期」を迎えて様々な悩みがあり、心も体も大人への階段を一步一步登っていくわけですから、ストレスがないはずがありません。むしろ、子どもによっては、大人よりもたくさん感じているかも知れません。その原因は、様々なものが考えられ、例えば、体に関するものや、



今年も、7月1日（木曜日）の5限目に「こころの不調と病気、ストレス対処、自殺予防」等について話を聞く機会を設けました。その中では、ストレスについてをはじめ、心の病の話では自分のストレス発散方法を見つけることや、自殺予防に関わっては、相手の話を聞く立場についてなどの話題がありました。

授業後に実施した生徒たちへのアンケートには、「心の病について言葉として聞いたことはあったが、知らなかったことがわかって良かった」や、「自分の話を誰かに聞いてもらうことも大切だけれど、相手の話を聞くことも大事なこととわかった」などの感想が見られました。

中学生という多感な時期だからこそ、一層気を配らなければならない「メンタルヘルス」について教師側も改めて確認することができ、とても有意義な時間となりました。

## 食育の授業が行われました

7月5日と6日に、校区の川崎小学校から栄養教育担当の、大澤歩果（おおさわ あゆか）先生をお招きして、食育に関する授業が、2年生を対象に行われました。日本人は、カルシウムが不足していることなどが取り上げられ、子どもたちは改めて自身の食生活について考える良い機会となりました。



中部中学校では、「SDGs」（持続可能な開発目標）について、様々な観点や角度から学習をしています。7月5日（月曜日）、**について学びました。**

今回は対象を1年生とし、新制服の作製を担当してもらったカンコー学生服さんにお世話になり、授業を行いました。



# 『Let's 家勉プロジェクト』 取組結果まとまる



「Chubu2021 学年対抗家勉lympic ～ 金メダルめざして Go! Go! Go!～」

※表中の数字は生徒数を示す(人)

## 家勉プロジェクト 取組結果

	30時間	20時間	10時間	10時間以下
1-A	15	6	6	5
1-B	6	18	7	1
1-C	26	2	2	1
1-D	18	5	5	3
1-E	13	7	7	4
1-F	21	7	1	2
計	99	45	28	16
	52.7%	23.9%	14.9%	8.5%

1年生のみなさん  
次回はもっと↑

	30時間	20時間	10時間	10時間以下
2-A	21	8	2	1
2-B	28	1	3	0
2-C	25	3	3	0
2-D	11	10	9	3
2-E	18	5	6	1
2-F	22	7	2	2
計	125	34	25	7
	65.4%	17.8%	13.1%	3.7%



	30時間	20時間	10時間	10時間以下
3-A	24	2	3	1
3-B	9	10	7	6
3-C	20	4	3	3
3-D	28	1	1	1
3-E	26	5	0	0
計	107	22	14	11
	69.5%	14.3%	9.1%	7.1%

さすがは3年生  
よく頑張りました

	30時間	20時間	10時間	10時間以下
全校	331	101	67	34
	62.1%	18.9%	12.6%	6.4%

目標は・・・  
80%以上はほしい

※数字の合計が、実生徒数と合わない場合があります。

6月8日～6月22日を取組期間として行われました、今年度第1回目の『Let's 家勉プロジェクト』ですが、このたびその結果がまとまりました。これによりますと、30時間以上の家勉を達成した生徒は全体の**62.1%**となり、昨年度の結果(第2回目が48%)からみると大幅アップとなっています。これは、家庭学習時間に課題がある本校としては好結果となっており、実際のテストや通知表の成績等に結びついてくれると、なおさら満足できるものとなります。学年別に見た場合、さすが3年生という感じで、70%に近い達成率となっています。一方、1年生が、まだまだ自主的な家庭学習(宿題以外のものも含む)に慣れていないのか、半分程度の生徒しか達成できていません。昨年度と比べれば幾分か高いものの、“家勉”をもっと習慣づけてほしいところです。

次回の「Let's 家勉プロジェクト」に向け、さらに意欲を伸ばしてほしいと思います。